

やります



村本ひろやのお約束

▼ 墨田区でも学校給食費の無償化を

23区で唯一給食費を値上げた墨田区。値上げの撤回、そして無償化を。

▼ 個人や中小事業者に経済的給付を

現金給付型の直接支援には背を向ける墨田区。区の経済対策は不十分です。

▼ 医療、介護保険料引き下げを！

毎年値上げされ、高すぎる保険料。引き下げのため力を尽くします。

▼ 墨田区から平和を発信

戦争の犠牲者の慰霊碑や、東京大空襲を説明する展示物などのさらなる設置を。

▼ 墨田区の災害対策強化を

大規模な地震や水害から区民の命を守ります。

▼ ヘイトスピーチ規制へ

墨田区の外国人人口は1万人超。誰もが安全にくらせる墨田区を。



PROFILE ▼ 1986年大阪府豊能郡能勢町生まれ。奈良県立大学地域創造学部観光学科卒業。2005年、大学生のときに日本共産党に入党。大学時代には、毎年、広島・長崎の原水爆禁止世界大会に行くなど、非核・平和運動に参加。学費値下げ運動にも取り組む。2013年には都議選にも挑戦。2015年から墨田区議会議員を1期務める。現在、日本共産党墨田地区委員会副委員長。生活困窮者支援や生活相談活動に継続して取り組んでいる。

奮闘する
日本共産党区議団

新型コロナ 物価高騰 から 命と暮らしを守る区政へ

悪政ときっぱり対決

墨田区議会は、区長提案にはほとんど賛成という「オール与党」になっており、山本区政は、岸田自公政権の悪政に追随しています。日本共産党区議団は、消費税増税や社会保障の切り捨て、国民健康保険料や介護保険料の値上げなど、区民の利益にならないものにはきっぱりと反対、暮らしを守るために頑張っています。

建設的提案で区政動かす

日本共産党区議団は、区民の声をまっすぐに届け、「予算組み替え案」も示して、暮らしを守る施策を粘り強く提案。コロナ対策で検査と医療の体制強化、認可保育園や学童クラブの増設、耐震改修助成の拡充、避難場所の改善、ジェンダー平等の前進などを実現してきました。

野党共闘を区政でも

立憲民主党は区長が提案する予算や決算、「国保料」や駐輪場の値上げにも賛成しており、共産党を除く「オール与党」に。それでも共産党は区民要求の実現と、野党共闘のために力を尽くしてきました。新型コロナ対策では支援強化を求めて連名で要望書を提出。区民の利益と道理のため、他の党派にも働きかけて区政を動かします。

前墨田区議

むらもと裕哉

村本 ひろや



▲SNSをチェック

区民と懇談し、声を聞く。



37歳

区政へ再び！
向島二丁目在住

4年前に議席を失ったあと
コロナ禍の生活相談、青年団体のとりくむ
フードバンクを利用する方など
1500人の声を聞いてきました。

「住民福祉の増進」が自治体の役割
政治の仕事です。

しかし、墨田区政は苦しい実態に
応えているとはいえません。
格差と貧困をなくしたい。
その信念はますます強く
なっています。

あなたの声で、政治を変えるために
私を区政の場で
働かせてください。
村本ひろや

大軍拡・大增税ストップ //
日本共産党



市民のみなさんと共に変えてきました!



墨田区議会議員として

一貫して学校給食費無償化求める

17年11月、定例議会の代表質問で学校給食費無償化について要求。(同年9月、党区議団として「給食費助成条例案」を提出)全国83自治体(当時。23年2月現在260自治体に拡大)で給食費の無償化が広がっていることや、無償化は子どもの成長や食育に良い影響を与えることを示し、墨田区で給食費無償化の実現を強く求めました。区議会議員の4年間、給食費をテーマに幾度も質問にたち墨田区の姿勢を追及してきました。

墨田区議会議員として

生徒の声を尊重する学校づくり

いき過ぎた校則の見直しへ「ガイドライン」づくりに道を開く

区内中学校の校則に、下着の色や髪型を指定するなど、児童・生徒の人権を無視するルールがあることがわかり、2018年の議会でとりあげました。その後、全国的な運動と区民の声があとおしになり、「墨田区立学校・校則の見直しについてのガイドライン」が21年につくられ、理不尽な校則を見直す道が開かれました。



村本さんに期待します

村本さんは誠実で行動力のある人です。それは、コロナ禍のもとでの生活困窮者の支援活動や、ミャンマー難民の支援活動に表れています。

☺ 国民救援会墨田支部長 元区議会議員 片倉 洋さん

Change

生活が苦しい「あなた」を支える区政にチェンジ

コロナ禍で学費を払えなくなった学生、1日の食事の回数を減らす母子家庭など、生活が苦しいという声が急増しています。食料支援をはじめ格差と貧困をなくす対策を強化します。生活保護は権利です。制度の周知徹底や申請をしやすい環境をつくるなど、誰もが心配なくらせる区政に変えていきます。



食料支援を利用する若者が増えていると聞きました。安心してらせる制度を、区政から作っていく必要があります。

Change

公的住宅の増設と家賃補助制度の創設

墨田区には公的住宅が少なく、何回申し込んでも入居は難しいです。また、低所得者向けの家賃補助制度もありません。公的住宅を抜本的に増やし、家賃補助制度を作り、墨田区を誰もが安心して住み続けられる町にします。



住まいは人権! コロナ禍で収入が激減し、家賃が払えず、追い出されそうな方の相談を受けました。そうした人を救済する制度があまりに不十分です。これ以上住む場所に困る人を出したくありません。

コロナ禍で大変だったとき、村本さんに協力金の手続きなどをお手伝いしてもらい、とても助かりました。

☺ 居酒屋かくのたて 明平 弘美さん

私の原点

多文化共生の区政へ

大学では観光学を専攻。韓国、フィリピン、ミャンマーなどいろいろな国へ行きたくさん友だちができました。



フィリピンの友だちを訪ねたとき

日本共産党との出会い

憲法を守り、平和な日本を作りたいと、大学1年のときに日本共産党に入党。学生時代は毎年、原水爆禁止世界大会に参加。核兵器廃絶を願って活動を続けました。また、戦前から命がけで戦争に反対してきた日本共産党で活動していることを、誇りに感じています。これからも平和憲法を守るため、全力で頑張ります。



入党し、仲間の歓迎を受ける



守る、日本共産党

